

煌めく女性リーダー塾

Report #1

第11期
令和5年度

★先輩女性に聞いてみよう! ★知事とのトーク ★カリキュラム

質疑応答

Q イラッとしてしまうときはどうしていますか?
A こういう理由で怒っていると冷静に伝えることも大切です。(横田)
 正直に報告してもらうためにも、表には出さないようにしています。(高桑)
 汲みとってくれる相手であれば、表情や態度でマイルドに示すことがあります。(馬場)

Q モチベーションが低い相手にどう対応していますか?
A 原因があるのであれば、それを解消するサポートをしています。(横田)
 多くを求めすぎず、少し上を目指させるようにしています。(高桑)
 「助かったよ」など承認欲求を満たすフィードバックをしています。(馬場)

Q 男性優位の風潮が根強いなかメンタルをどう保っていますか?
A 男女のコミュニケーションの仕方を知っていれば、メンタルを鍛えずともラクに構えていられるようになります。(横田)
 自己開示をしてメンバーとつながること、そして、そのサポートを感じることが支えとなっています。(高桑)
 積極的に発言するなど、さまざまなシーンでプロジェクトを前進させる意識を持つようにしています。(馬場)

Q 大勢のまえで自信を持って話すにはどうすればいいですか?
A 声の大きさが重要になることもあるので、発声練習をするのがおすすめです。(横田)
 つくりすぎずに話すこと、ポイントを絞って話すことが大事です。(高桑)
 集団ではなく一人ひとりの個人に話している意識を持つといいと思います。(馬場)

Q オフへの切り替えはどうしていますか?
A 体を動かしたり、職場と家庭以外の第三の場所を持つたりしています。(横田)
 休日は早起きして家事を済ませ、サウナに行くなど自由な時間を楽しんでいます。(高桑)
 冬は滑りを楽しみ、オフシーズンは筋トレに励んでいます。(馬場)

必要な「コミュニケーションしやすい雰囲気」を創出すること、方向性を提示したうえで実現するべく邁進することです。当塾はリーダーに求められる広い視野や高い視座を得られる場だと思えますので、上手く活用して大きく飛躍してください。富山県を支えていくのはみなさんにほかなりません。今後、企業として社会にますます貢献されることを期待しています。



富山県副知事

リーダーになると、どうやってメンバーに活躍してもらおうか、どうやってチームを誘導していくかに、仕事の重点が置かれるようになってきます。これらを遂行するために必要なのは、「コミュニケーションしやすい雰囲気」を創出すること、方向性を提示したうえで実現するべく邁進することです。当塾はリーダーに求められる広い視野や高い視座を得られる場だと思えますので、上手く活用して大きく飛躍してください。富山県を支えていくのはみなさんにほかなりません。今後、企業として社会にますます貢献されることを期待しています。

横田美香氏



株式会社富山第一銀行 山室支店・土浦支店 支店長 高桑あやき氏

私がリーダーとして日々心掛けているのは職場の全体最適化です。現在、8名のメンバーと仕事をしていますが、本当に多様な価値観があること、そして、次々と想定外の事象が起こること、日々驚かされています。けれど、ひとつひとつを動じずに受けとめていけば、メンバーが安心して業務に集中でき、チームによりよい信頼関係が醸成され、結果、全体最適化につながると考えています。みなさんもリーダーになるにあたり戸惑うことがあるかもしれませんが、当塾で学んだことを自身にしっかりと落としこみ、ステップアップしていきましょう。



立山マシン株式会社 SFA事業部 営業技術部 馬場 恭子氏

チームをまとめていくために、目的は何で分担当を叶えるという想いです。ゴールにたどり着くまでには葛藤もあるでしょうが、当塾はたくさんの方と交流し互いの悩みを共有できる場所。「また頑張ろう」とモチベーションが上がるきっかけにもなるので、みなさんぜひ仲間をつくっていただきたいと思います。



●日時/令和5年8月2日(水) ●場所/富山県民生生センター サンフォルテ

先輩女性トーク ～自分らしくキャリアを切り拓く～

キャリアコンサルタントの養輪紀子氏(キャリアオフィスマの代表をファシリテーターに迎え、パネリストの横田美香氏、高桑あやき氏、馬場恭子氏に、リーダーとしての心掛けなどについてお話しいただいたほか、塾生たちからの質問にもお答えいただきました。



●日時/令和5年8月2日(水) ●場所/富山県民生生センター サンフォルテ

第11期生となる59名が「煌めく女性リーダー」を目指します。

第11期目となる令和5年度「煌めく女性リーダー塾」が開講しました。塾生は総勢59名(アクションラーニングコース29名・スキルアップコース30名)で、12月中旬までの約4か月半、リアル集合研修とオンライン研修に参加し、リーダーシップやコミュニケーションについて学びます。

開講式では横田副知事から「女性活躍推進は、女性のウェルビーイングの向上、企業や社会の前進、少子化対策につながるもの。つまり、地域の未来を拓くことにつながり、当塾がそのきっかけとなればと考えている。この想いをみなさんにも共有していただき、そのうえで受講し飛躍していただければ」と挨拶がありました。

続いての自己紹介・名刺交換では、塾生たちが互いに、現在の仕事や立場、入塾のきっかけ、当塾で学びたいことについて話しあいました。その雰囲気は活気に満ちており、塾生たちの自己研鑽と相互交流、そして、企業や業種を超えたネットワーク構築が促されることを予感させるものとなりました。



煌めく女性リーダー塾(令和5年度)カリキュラム

日程	時間	内容	講師	
アクションラーニングコース	8/2(水)	13:00~13:15 開講式・オリエンテーション		
	共通講座	13:15~14:45	●先輩女性トーク～自分らしくキャリアを切り拓く～	(パネリスト) マスターコース修了者 富山県副知事 横田美香 (ファシリテーター) キャリアオフィスマの代表 養輪紀子氏
		15:00~16:00	●自己紹介&名刺交換タイム	(ファシリテーター) キャリアオフィスマの代表 養輪紀子氏
		16:15~16:30	●オンライン受講についての説明	
	8/31(木)	13:30~16:30	●アクションラーニング 組織に貢献できるキャリアアクションプラン①	㈱クオリア代表取締役社長 荒金雅子氏、アソシエイト講師 篠田寛子氏
	9/13(金)	13:30~16:30	●アクションラーニング 組織に貢献できるキャリアアクションプラン②	㈱クオリア アソシエイト講師 篠田寛子氏
	9/29(金)	11:00~12:30	知事とのトーク(ラ・チャンスにて)	
	10/6(金)	13:30~16:30	●アクションラーニング 組織に貢献できるキャリアアクションプラン③	㈱クオリア アソシエイト講師 篠田寛子氏
	11/16(木)	9:00~12:00	●成果発表会希望者リハーサル	
		13:00~17:00	●成果発表会(ワールドカフェ方式による)	㈱クオリア代表取締役社長 荒金雅子氏 アソシエイト講師 篠田寛子氏
12/13(水)	13:30~16:00	●煌めく女性リーダー塾ネットワーク強化事業 ・公開講演会 ・ネットワーク会議	日本生命保険相互会社 総合法人第八部 総合法人部長 梶原織梨江氏	
	16:00~16:30	修了式		
スキルアップコース	8/2(水)	13:00~13:15 開講式・オリエンテーション		
	共通講座	13:15~14:45	●先輩女性トーク～自分らしくキャリアを切り拓く～	(パネリスト) マスターコース修了者 富山県副知事 横田美香 (ファシリテーター) キャリアオフィスマの代表 養輪紀子氏
		15:00~16:00	●自己紹介&名刺交換タイム	(ファシリテーター) キャリアオフィスマの代表 養輪紀子氏
		16:15~16:30	●オンライン受講についての説明	
	8/30(水)	13:30~16:30	●ロジカル(論理的)スキル 一思いを伝えるために必要なこと	法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授 高田朝子氏
	9/27(木)	13:30~16:30	●コミュニケーションスキル 自分を knowingて伝えるように話す	
	11/2(木)	13:30~16:30	●実践! ミニワーク	
	11/16(木)	13:00~17:00	●成果発表会 聴取可能(ワールドカフェ参加) <small>希望者のみ</small>	
	12/13(水)	13:30~16:00	●煌めく女性リーダー塾ネットワーク強化事業 ・公開講演会 ・ネットワーク会議	日本生命保険相互会社 総合法人第八部 総合法人部長 梶原織梨江氏
		16:00~16:30	修了式	

煌めく女性リーダー塾(令和5年度)塾生名簿 (事業所名五十音順)

- アクションラーニングコース** 株式会社アイザック 小森 嘉美、救急薬品工業株式会社 大江 奈穂美、救急薬品工業株式会社 成瀬 真弓、協和ファーマケミカル株式会社 西井 侑子、三協立山株式会社 島田 珠代、三協立山株式会社 山崎 佐外美、三光合成株式会社 横山 かおり、損害保険ジャパン株式会社富山支店 小堀 里美、立山科学グループ株式会社立山科学センターテクノロジー 飯田 由香子、立山科学グループ株式会社立山科学デバイステクノロジー 黒河 歩美、トナミ運輸株式会社 川田 紫織、とやま生活協同組合 岩坪 真衣子、とやま生活協同組合 島田 恵、株式会社富山第一銀行 五十嵐 沙織、国立大学法人富山大学 武藤 香織、トヨタモビリティ富山株式会社 濱田 弥生、トヨタモビリティ富山株式会社 山下 香織、株式会社日本オープンシステムズ 追分 和美、株式会社日本オープンシステムズ 大野 真裕美、株式会社日本オープンシステムズ 松川 麻衣子、日本海ガス株式会社 菅原 由紀子、パイホロン株式会社 佐藤 雅美、ハリタ金属株式会社 垣地 沙知、日の出屋製菓産業株式会社 松色 瑠菜、株式会社北陸銀行 中西 麻理子、北陸電機製造株式会社 小林 紗由里、北陸電力株式会社 佐藤 緑、三井住友海上火災保険株式会社 土池 彩乃、YKK株式会社 広浜 麻美
- スキルアップコース** 協和ファーマケミカル株式会社 藏野 由梨、三協立山株式会社 岩崎 由紀子、三協テック株式会社 竹田 純香、株式会社サンリッツ 祐安 知世、株式会社サンリッツ 藤澤 朋里、損害保険ジャパン株式会社富山支店 荒木 美里、損害保険ジャパン株式会社富山支店 山田 美由紀、立山科学グループ立山マシン株式会社 大野 静香、立山科学グループ立山マシン株式会社 桐澤 由佳、田中精密工業株式会社 澁谷 菜里、地域密着型特別養護老人ホームささづ苑 盛安 朋子、株式会社チューエツ 八嶋 佐紀、東京海上日動火災保険株式会社富山支店 梨谷 優菜、東京海上日動火災保険株式会社富山支店 柳澤 晶子、株式会社富山 野田 倫代、株式会社富山 山本 里香、株式会社富山第一銀行 中川 沙耶、国立大学法人富山大学 杉田 実和子、日の出屋製菓株式会社 鶴野 裕子、北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社 神田 里美、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 姜 在禧、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 黒川 桃子、北陸電気工業株式会社 牧田 美羽、北陸電気工業株式会社 森川 遥、北陸電気工業株式会社 黒田 俊恵、北陸電気工業株式会社 山藤 澄子、北陸電機製造株式会社 三浦 優子、北陸電機製造株式会社 吉田 友夏、北陸電力株式会社 網谷 聡子、丸喜産業株式会社 土谷 友佳



●日時／令和5年9月29日(金) ●場所／ラシャンス

知事とのトーク

富岩運河環水公園を一望するフレンチレストラン「ラ・シャンス」にて、新田知事と塾生29名との懇談会が開催されました。はじめに、新田知事から「生産年齢人口減少の対応策であるダイバーシティ推進。その第一歩は女性活躍推進にほかならず、行政としても塾をしっかりとサポートしていきたい」と挨拶があり、続いて、塾生の自己紹介、そして、知事への質問が行われました。

トヨタモビリティ富山株式会社
山下香織さん

Q 子どもの発熱などで幼稚園や保育園から呼びだされたとき、女性も男性も同じように対応できる職場にするにはどうしていいべきだと考えておられますか？

A 女性も男性も同じように対応するという意識を、本人同士、上司や同僚、そして、なにより経営者が持つべきだと考えます。先日、経営者および経営幹部を対象にしたセミナーを実施し、育児分担当が進まず負担軽減も叶わない状況を放置したままでは、女性の県外流出が加速し、地域経済が縮小して、企業に損失が発生するという危機意識を共有することも、女性も男性も同じように対応するのが当たり前という意識改革の実践



新田知事

と企業風土の醸成を要請しました。なお、富山県では男性の育児休業取得者およびその事業主に補助金を支給する施策を行っています。これを男性従業員のみならず、経営者のみなさんへぜひ活用していただき、子どもを産み育てやすい企業ならびに社会をつくりあげていく、ひとつの足掛かりにしていくつもりです。

Q 富山県の女性の正社員比率と管理職比率に大きな差がある原因をどう捉えておられますか？また、これを解消するための施策はありますか？

A 正社員比率が全国3位、管理職比率が全国44位と、大きな差が生まれている原因は主にふたつあると考えます。ひとつは仕事と家庭の両立のしにくさです。これを改善するには、業務の生産性向上や属人化解消、家事・育児分担当の推進により、ワーク・ライフ・バランスをしっかりとれるようにするこ



バイホロン株式会社 佐藤 雅美さん

●日時／令和5年8月31日(木)、9月13日(水)、10月6日(金) ●リアル集合研修・オンライン研修



アクションラーニング

～組織に貢献できるキャリアアクションプラン～

荒金 雅子氏(株式会社ワオリア代表取締役)・篠田 寛子氏(同アソシエイト講師)

1回目では、キャリアのカベとライフ・キャリアイベントの影響を考え、また、柔軟な思考法(リフレーミング)を学ぶことで、自己変革・組織貢献のための課題を整理し、本来の自分らしい姿で活躍できるように、自分の強みや意思・情熱を確認しました。その後、自己変革・組織貢献に向け、それぞれが考える課題ごとにグループに分かれ、学びをスタートしました。2回目以降では、一人ひとりが過去の充実体験を振り返り、また、自身の上司や家族などにインタビューすることで、自身の強みを再発見し、自分ブランド・ありたい姿を明確

にし、目標達成のために必要な行動(アクションプラン)について検討を行いました。塾生たちは、日々の職場等で実践したアクション内容をオンライン上で他の塾生や講師と共有し、切磋琢磨しながら、11月の成果発表会に向けて各自のアクションプランをブラッシュアップさせています。成果発表会には各参加事業所の人事担当者等にも参加していただき、塾生の皆さんの成長された様子や本塾での取り組み成果を見ていただきます。



●日時／令和5年8月30日(水)、9月27日(水)、11月2日(木) ●リアル集合研修・オンライン研修



ロジカル(論理的)スキル — 思いを伝えるために必要なこと

コミュニケーションスキル — 自分を知って伝わるように話す

実践! ミニワーク

高田 朝子氏(法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

このコースは管理職に必要なリーダーシップやコミュニケーションのスキルを学ぶためのコースです。

1回目は「自分の考えのクセを知りロジカルに話すことを武器にする」がテーマでした。ビジネスの現場でリーダーシップを発揮するために大切なことは意志決定です。そのためのフレームワークであるロジックツリーやデジジョンツリーを学びました。また、自分の考えのクセを知るために、グループで意思決定をするワークも行いました。2回目では、コミュニケーションスキルをテーマに、「自分のこと」

や「他人からの印象」などを知るためのワークをオンラインで行いました。そして3回目は学んだことを活かした「実践ワーク」で、グループに与えられた課題に時間内でリサーチし、テーマを決め、ディスカッションして発表する内容でした。

相手に何かを伝えるためには、自分に自信を持つことが重要になります。女性には「自分には能力がない・自信がない」と考える傾向があるなかで、小さな成功体験を意識し、それを積み重ねることで、自信を付けることができることを教えていただきました。



了後もつながり続け、よりよいキャリアを拓いてほしい」と、そして、最後に新田知事から「人生の先輩として話をすると、やってしまった後悔より、やらなかった後悔のほうが引きずりやすい。これから後悔のない人生を歩むためにも、迷ったらずまず一歩踏み出すということを実践してほしい」とメッセージが送られ、和やかな雰囲気なか懇談会を終了しました。

